

アクション	説明	実施主体		実施計画（H25～26は現時点でのイメージ（今後変更あり））			目指す姿	
		主たる実施機関	連携機関	H24	H25	H26		
<b>I 町内における新幹線開業機運の醸成</b>								
1	開業告知資材の作成	新幹線木古内駅開業を告知するポスター、ちらし等を作成する。	新幹線振興室		告知資材の作成	告知資材の増刷	告知資材のリニューアル（開業直前バージョン）	○新幹線木古内駅開業が認知されている。 ○町民の間に、新幹線を利用した地域振興や商業振興を積極的に行っていくとする機運が広がっている。
2	開業告知資材の掲出・配布	作成した告知資材を町内のできるだけ多くの場所で掲出するとともに、町民自らが各種会議等を通じて配布を行う。	新幹線振興室	事業者、各種団体、一般町民	掲出・配布	掲出・配布	掲出・配布	
3	開業イベントの実施	新幹線の開業を町民が体感できるようなイベントを実施する。	新幹線振興室	商工会、観光協会	威臨丸まつり等でのイベント実施	威臨丸まつり等でのイベント実施	開業前年イベントの実施	
4	新幹線で頑張る町民及び役場の取組紹介	新幹線の開業に向けて先駆的取組を行っている町民、役場の取組等を、定期的に広報誌折込で紹介する。	新幹線振興室		広報誌折込で紹介	広報誌折込で紹介	広報誌折込で紹介	
5	その他	上記以外にも、町内の開業機運醸成につながる取組を機動的に実施する。	新幹線振興室		キーコ新幹線観光駅長委嘱 キーコ駅長室開設等	新幹線駅舎を生かしたPR等	未定	
<b>II おもてなしの心づくり</b>								
6	おもてなしワークショップの開催	事業者、宿泊事業者、交通事業者等を対象として、おもてなし向上を図るワークショップを開催する。	産業経済課 商工会、観光協会 駅前中央通商店街	各種事業者		ワークショップ開催	取組の検証・バージョンアップ	○町民の間に観光客を暖かく迎え入れようとする気持ちが広がっている。
7	おもてなしリーフレットの作成	上記ワークショップ参加者が、自ら学んだおもてなしの心得をリーフレット化して、町民に配布する。	産業経済課 商工会、観光協会 駅前中央通商店街	各種事業者		リーフレット作成	町民への説明・配布	○全ての町民が街角ですれ違う観光客に自然に挨拶をしている。
8	おもてなし宣言ツールの作成	町民が、おもてなしの心を自ら宣言するためのツール（ワッペンなど）を作成し、活用する。	産業経済課 商工会、観光協会 駅前中央通商店街	各種事業者		ツール作成	町民への説明・配布	○事業者の観光客に対する接客技術が向上している。
9	町民が木古内の魅力を正しく伝えるためのリーフレットの作成	町民が木古内の魅力を改めて理解し、お客様に正しく伝えるための、Q&A形式リーフレットを作成する。（7と合体版で作成）	産業経済課 商工会、観光協会 駅前中央通商店街	各種事業者		リーフレット作成	町民への説明・配布	○町民が木古内の魅力を理解し、それを自らの言葉で観光客に伝えている。
<b>III まちの回遊促進</b>								
10	「ちょこっとまち歩き」の展開	当町の特性を生かし、新幹線の乗降前後の時間を利用した1～2時間程度の「プチ滞在」を楽しめる散策ルートを開発する。	産業経済課 商工会、観光協会 駅前中央通商店街		散策ルートの検討	試験的事業展開 散策ルートの完成	看板等のハード整備	○複数のまちあるきコースが出来、観光客が町のプチ散策を楽しんでいる。
11	駅前中央通商店街の魅力向上	観光客が立ち寄りたくなるような、町の顔にふさわしい魅力ある商店街づくりを行う。	産業経済課 商工会、観光協会 駅前中央通商店街			魅力向上方策の検討 試験的事業展開	未定	○駅前中央通商店街の各店において、観光客を意識した様々な取組が行われている。
12	駅南口からみそぎ浜にかけての重点的整備	駅南口からみそぎ浜にかけてを、まちの回遊促進に向けた核として、景観統一や小公園などの整備を行う。	まちづくり新幹線課 産業経済課 駅前中央通商店街		道南杉を生かした景観統一	道南杉を生かした景観統一 小公園、ベンチ等の整備	道南杉を生かした景観統一 小公園、ベンチ等の整備	○駅前通からみそぎ浜の間において、観光客が滞留、休憩できるようなベンチや小公園が整備されている。
<b>IV 食の魅力向上</b>								
13	「はこだて和牛」を活用した魅力的なメニューづくり	町の希少資源である「はこだて和牛」を使用した、魅力的なメニュー開発を促進する。	産業経済課 生産者、食肉事業者 飲食店		町内飲食店での利用状況調査	観光客等のニーズ把握 アドバイザー招聘によるメニューの磨き上げ	未定	○観光客にとって魅力的な「はこだて和牛」のメニュー開発が進んでいる。
14	飲食店に対する「はこだて和牛」の安定的供給	飲食店が「はこだて和牛」を安価で安定的に確保し、メニュー開発を行うため、肉の仕入補助を行う。	産業経済課 生産者、食肉事業者 飲食店		肉の仕入補助	肉の仕入補助	肉の仕入補助（新幹線開業後は縮小も視野）	○木古内は「食の町」とのイメージが定着し、食の魅力で観光客が立ち寄るようになっている。
15	木古内の食の魅力をPRするツール作成	木古内の代表的な食材と、それを提供する飲食店等を紹介する「食」に特化したPRツールを作成する。	産業経済課	飲食店		PRツール作成・配布	PRツール修正・配布	

アクション	説明	実施主体		実施計画（H25～26は現時点でのイメージ（今後変更あり））			目指す姿	
		主たる実施機関	連携機関	H24	H25	H26		
<b>V 魅力的なお土産品の開発・販売</b>								
16	お土産品戦略研究会の開催	今後のお土産品の開発、販売を重点的かつ戦略的に推進するための研究会を開催する。	産業経済課 事業者		研究会開催 重点開発に向けた方向性確認	重点開発品の選定 青森県等での先進事例勉強	未定	○観光客に訴求力のあるお土産品が戦略的に開発、販売されている。 ○町民が日常生活や、町外への手みやげとしてお土産品を購入、利用している。
17	お土産品の開発	町が一定の補助を出し、町内におけるお土産品の開発を支援する。	産業経済課 事業者		お土産品開発（5社）	お土産品開発（3社）	未定	
18	町民への周知、利用拡大	開発したお土産品を町民に周知するとともに、町内外のイベント等において紹介、販売する。	産業経済課 事業者		広報誌に掲載	広報誌に掲載 各種イベントでの紹介、販売	広報誌に掲載 各種イベントでの紹介、販売	
<b>VI まちのイメージアップ</b>								
19	町のランドマーク整備	町を代表するイメージの高い景観として、薬師山の芝桜の整備を行うとともに、積極的に外部に発信を行う。	産業経済課			芝桜の整備 フォトコンテストの開催	芝桜の整備	○木古内の代表的景観として「海峡を望む丘に咲く芝桜」が定着している。
20	町のデザイン力向上	駅前、観光交流センター、駐車場等における統一感のあるサインを作成する。	新幹線振興室			サイン計画作成 各種ハード事業に合わせ整備	各種ハード事業に合わせ整備	○町の各所で観光客に好感のもたれる、わかりやすく統一感のある案内サインが掲示されている。
21	「キーコ」を活用したまちの認知度とイメージ向上	木古内町の認知度とイメージの向上を図るため、「キーコ」を活用し、道内外への積極的なプロモーションを行う。	産業経済課 新幹線振興室 観光協会			キーコプロデューサーの設置 キャラクターの魅力向上 道内外でのプロモーション	道内外でのプロモーション	○「キーコ」をきっかけとした木古内の認知度が向上している。
<b>VII その他</b>								
22	木古内町観光交流センターの建設	9町広域観光の拠点施設である観光交流センターを、町民にとっても利用しやすい、魅力的な施設とする。	新幹線振興室	商工会、観光協会 駅前中央通商店街等	運営方法等の検討 基本設計	実施設計	本体工事	○魅力的な物販、飲食店舗等を多くの観光客や町民が利用している。
23	ブレ開業需要の取り込み	新幹線開業、並行在来線移管など鉄道に関して様々な動きが続く当地の特性を活用した鉄道愛好家等の来訪を促す。	新幹線振興室 観光協会			撮影ポイント&観光マップ作成 ウェブ等による情報発信	未定	○鉄道愛好家等の来町が増え、町内の消費拡大につながっている。
24	体験観光のあり方検討	新幹線開業等の事業環境変化を踏まえた今後の体験観光のあり方について検討を行う。	産業経済課 まちづくり新幹線課 体験観光推進協議会		あり方検討	エージェントへの営業など	エージェントへの営業など	○町を代表する観光メニューの一として引き続き好調に体験観光客が来訪している。